

## 謹んで新年のご挨拶を申し上げます

近畿総合通信局長 高野 潔

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、輝かしい歴史の1ページとなる年となるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、残念ながら我慢と忍耐の1年となりました。

そして迎えた2021年は、この災禍を克服し、再始動する年とするためにも、近畿総合通信局は、以下の施策などに重点的に取り組んでまいります。



- 新型コロナウイルス感染症の拡大とともに高まったテレワークの活用をより一層推し進めるために、テレワーク専門家を派遣する「テレワークマネージャー相談事業」や相談会等開催の支援を行う「テレワーク・サポートネットワーク事業」を各地で展開していきます。
- ローカル5Gの推進については、昨年7月に立ち上げた「近畿ローカル5G推進フォーラム」により、地方公共団体や関係企業等との間で最新の情報共有や新しい案件発掘・形成に努めるとともに、「電波有効活用セミナー」なども開催し、制度や最新技術動向、ユースケース等について紹介をする取り組みを進めていきます。
- 全国各地で激甚化する自然災害が頻発する中、これまで以上に地域住民へ必要な情報が迅速かつ確実に伝わる取り組みが必要であり、そのための対策を推進します。具体的には市町村同報系防災行政無線については、防災情報伝達の確実性向上のためデジタル化による高度化利用を促進していきます。
- 自治体等による臨時災害放送局の活用促進が重要であり、開設訓練をはじめ、セミナーの開催などにより臨時災害放送局の迅速かつ的確な開設及び運用に備えるための取組支援を行っていきます。
- 避難所等の防災拠点におけるWi-Fi環境整備などとともに、災害時の非常通信ルートの見直しの機会を利用した自治体訪問などを通して関係機関等との「顔の見える関係づくり」の構築を進め、ハード・ソフト両面での防災・減災につながる基盤づくりを目指します。
- テレワークやWeb会議が日常の光景となる一方で、サイバー攻撃等が増加しており、以前にも増してセキュリティ対策の必要性が高まっています。このような状況に鑑み、中小企業等の経営者に向けた情報提供や無料のセミナーや講座を開催し、サイバーセキュリティ分野の人材育成や機運醸成等のための活動を強化しています。

本年も当局の施策にご理解、ご協力を賜りますとともに、新年が皆様にとって素晴らしい年となることを祈念申し上げます。